

会の趣旨

これからの算数・数学教育を考える会は、全国の方々と、算数・数学教育のあり方について議論・交流する会です。

日頃の学校現場での算数・数学の授業実践を持ち寄り、指導の改善につなげたり、新しい教育内容・方法の考案・検証を行っていくことを目的としています。

算数・数学教育に関心のある先生、教員を目指す学生・高校生、一般の方々のご参加をお待ちしています。

日時

2024年 11月 24日 (日)

14:00 ~ 15:00 事例発表

15:00 ~ 15:30 教育最新事情

プログラム Zoomによるオンライン開催(参加費無料)

14:00~14:30 事例発表 1

生徒に数学の有用性を実感させる授業の実践

徳永 凱 (京都教育大学附属京都小中学校 教諭)

14:30~15:00 事例発表 2

『数学×○○』～「使う」から考えてみる中学校数学～

木村 徳宏 (京都府立八幡市立男山中学校教諭)

15:00~15:30 教育最新事情

アバターの出現により教師の役割はどう変化するのか？

黒田 恭史 (京都教育大学教育学部数学科教授)

対象

小・中・高等学校教員、学生、一般 定員100名

申込先

URL(QRコード)にアクセスして

お申し込みください。申込締切：11月21日

<https://forms.gle/zDEiy2GDfg7H9CUV6>



問い合わせ

黒田恭史 (京都教育大学)

ykuroda@kyokyo-u.ac.jp

※参加申し込みができない場合は、上記の問い合わせ先までご連絡ください。

※11月22日(金)頃に参加方法の案内をメールで連絡します。

第24回

「これからの算数・数学教育を考える会」